

2 リニア駅周辺整備基本計画 中間とりまとめ 概要版

1. 整備における基本的な考え方

(1) 基本計画の考え方

2017年3月に策定した「リニア環境未来都市整備方針」では、リニア駅周辺に整備する施設や機能などの基本的な方針を示しました。

この整備方針を受け、リニア駅周辺整備基本計画では、都市計画上の位置付けや基盤整備の検討等に当たって必要な、駅周辺整備における整備コンセプト、導入機能・規模、ゾーニング、今後の進め方等()について、利用者像や駅近郊における産業の集積の呼び水となる視点等から基本的な考え方を整理し、現時点において想定される内容としてとりまとめるものです。

なお、本計画策定後の各施設の整備に向けては、今後の社会経済情勢の変化に応じ、導入する機能・規模、整備・運営主体等について、それぞれの適切な時期に具体的な検討を行うこととし、リニア環境未来都市創造会議をはじめ、地元市町やJR東海などの関係機関と協議して進めます。

各施設の整備を目指す時期、想定される整備・運営手法については、次回以降の本部会議で検討し、基本計画に反映

(2) 基本理念

国のスーパー・メガリージョン構想検討会の中間とりまとめでは、リニア中間駅周辺地域は、活発な知的対流と地域の魅力に即した豊かなライフスタイルが結び付いた、新たな拠点に発展していく可能性を秘めているとされています。

また、整備方針では、山梨らしさを最大限に生かしながら環境との共生や新たなライフスタイルの展開を目指すこととしています。

これらを踏まえ、リニア駅周辺エリアでは、豊かな自然環境のもと、国内外から多くの人々が集い、活発な交流や産業振興が図られる交流拠点を目指します。

加えて、リニア駅近郊における産業振興・定住促進に不可欠な、事業環境・生活環境などの充実を目指すとともに、リニア駅を新たな玄関口として交通ネットワークの強化を進め、県内各地の魅力や情報を発信することにより、リニア開業効果を県内全域に波及させます。

(3) 整備コンセプト

豊かな自然環境のもと、国内外から多くの人々が集う

「世界に開かれた交流拠点」の形成を目指します

リニア駅周辺は、豊かな自然・景観など山梨らしさを最大限生かし、本県の魅力を国内外に発信するとともに、本県の新たな玄関口として、県内各地との円滑な移動手段を確保し、様々な交流や活動を拡大します。

また、国内外からの来訪者だけでなく県民にとっても魅力的で賑わいをもたらすような、サービス機能や交流機能を備えた空間を創出します。

さらに、リニアと高速道路が直結する交通の利便性と多くの人々が集う拠点としての利点を生かし、戦略的な産業の集積、イノベーションの促進、人材育成及び情報発信などによる産業振興を図っていきます。

2. 導入機能・規模

(1) 利用者像と整備すべき導入機能

1) 利用者像

アクセス方法	利用者像	
リニア利用	国内外から山梨県にIN	ビジネス
		観光
	山梨県から国内外にOUT	ビジネス
		観光
通勤		
車、バスなどを利用	駅近郊住民以外	
	駅近郊住民	

観光は私用目的を含む。

2) 利用者数

リニア山梨県駅乗降客数	12,000 ~ 19,700人/日	リニア環境未来都市の考え方を踏まえた定住促進及びインバウンド観光客の増加を考慮し、停車本数を1時間に上下それぞれ最大2本とした場合を推計(2035年時点)
スマートIC計画交通量	4,800台/日	(仮称)甲府中央スマートIC実施計画書(2014年度)より
新山梨環状道路交通量	24,677台/日	全国道路・街路交通情勢調査(2015年度)より
4km圏人口	約9.4万人	総務省国勢調査(2015年)より、30分圏は2016年時点の道路ネットワーク利用の場合。
30分圏人口	約50万人	(仮称)甲府中央スマートICの開通等の将来道路ネットワークは含まず

3) 整備すべき導入機能

交通結節機能	
情報発信機能	インフォメーション機能
サービス提供機能	宿泊機能 飲食・物販機能
交流機能	コンベンション機能 広場公園機能 公共的機能
産業振興機能	研究開発機能 オープンイノベーション(交流)機能 情報発信・ゲートウェイ機能 人材育成機能

(2) 導入機能の具体化

交通結節機能、情報発信機能、サービス提供機能、交流機能、産業振興機能の5つの機能について、利用イメージに基づいた施設内容とします。

交通結節機能

リニア中央新幹線やスマートIC等の利用者の円滑な移動や乗り換えができるとともに、県内各地の主要拠点とを結ぶ公共交通ネットワークを形成し、円滑な乗り換えができる機能を備えた施設内容とします。

交通結節機能	
〔利用イメージ〕	〔整備内容〕
<ul style="list-style-type: none"> リニア利用者がバス、タクシー、レンタカー等の円滑な乗り換えができる場所 観光客や来訪者、駅近郊住民等が県内外各地へ移動するためのバスターミナル リニア以外の交通機関で山梨県を訪れた観光客のアクセス拠点 	<ul style="list-style-type: none"> 【駅北側（一般車利用者）】 一般車ロータリー 待合スペース/トイレ 充電スタンド/水素ステーション レンタカー/シェアカー等 【駅南側（公共交通利用者）】 公共交通ロータリー 待合室/トイレ バス・タクシー乗降場/タクシープール/バス待機スペース 自動運転車両の乗降場等
	〔規模〕
	・6,000㎡~8,000㎡

サービス提供機能

国内外の来訪者の快適性・利便性・満足度の向上や、駅近郊住民等の生活利便性の向上を図る機能を備えた施設内容とします。

宿泊機能	
〔利用イメージ〕	〔整備内容〕
<ul style="list-style-type: none"> 会議、商談等のビジネス利用 長期・短期滞在、リニア以外の交通機関で訪れる観光客などの利用 	<ul style="list-style-type: none"> ビジネス利用を想定したシンプルかつリーズナブルな宿泊施設 共用部分は宿泊者以外の利用も想定 宿泊以外の機能も併せ持った施設
	〔規模〕
	・5,000㎡~7,500㎡（延床）

飲食・物販機能	
〔利用イメージ〕	〔整備内容〕
<ul style="list-style-type: none"> 地元食材を堪能、地元特産物の購入 リニア以外の交通機関で訪れる観光客の道の駅的な利用 駅近郊住民等も利用 	<ul style="list-style-type: none"> レストラン カフェ、ワインバー、バル ライフスタイル提案型ショップ 県内各地の農産品・特産品店等
	〔規模〕
	・2,000㎡~3,000㎡（延床）

情報発信機能

本県の魅力の発信や来訪者の快適性、利便性、満足度の向上のため、ICTなどを活用し、分かりやすい情報を提供する機能を備えた施設内容とします。

インフォメーション機能	
〔利用イメージ〕	〔整備内容〕
<ul style="list-style-type: none"> 観光情報のワンストップサービスの提供 目的地までの交通情報の提供・案内 	<ul style="list-style-type: none"> 観光案内施設 交通情報提供施設
	〔規模〕
	・300㎡~400㎡（延床）

交流機能

国内外の来訪者の文化交流の促進や、ビジネスチャンスの創出、駅近郊住民等の生活利便性の向上、来訪者や駅近郊をはじめとする広く県民にも魅力的な場となる機能を備えた施設内容とします。

コンベンション機能	
〔利用イメージ〕	〔整備内容〕
<ul style="list-style-type: none"> 会議、商談、企業の催し物の開催、展示会、学会などのビジネス利用 県内外住民のコンサート、演劇鑑賞 全国会議、国際会議の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ホール 多目的会議室 会議室 研修室 展示場等
	〔規模〕
	・30,000㎡~50,000㎡（延床）

広場公園機能	
〔利用イメージ〕	〔整備内容〕
<ul style="list-style-type: none"> リニア利用者や駅近郊住民のくつろげる空間として利用 屋外イベント会場として利用 災害時の避難場所 	<ul style="list-style-type: none"> 山梨県の顔となるシンボリックな空間 周辺の山脈を望める憩いの空間 展示・イベントスペース・にぎわいの空間
	〔規模〕
	・20,000㎡~30,000㎡

公共的機能	
〔利用イメージ〕	〔整備内容〕
<ul style="list-style-type: none"> リニア通勤者や駅近郊住民等の行政サービスの利用 リニア通勤時に保育所・診療所の利用 移住・定住希望者の相談窓口 	<ul style="list-style-type: none"> 行政サービス施設 保育施設 診療施設 郵便局 移住・定住相談施設等
	〔規模〕
	・600㎡~700㎡（延床）

産業振興機能

近郊における産業の集積の呼び水とするとともに、本県に集積した産業の情報発信を効果的に行い、リニア山梨県駅で降車してもらうために求められる機能を備えた施設内容とします。

研究開発機能	
〔利用イメージ〕	〔整備内容〕
<ul style="list-style-type: none"> 国内外の企業が研究開発を進める場 国内外の企業が実験や国内外ユーザーへのPRを行う場 産学官連携による共同研究の場 	<ul style="list-style-type: none"> R & Dセンター 社会実装農場
	〔規模〕
	・7,000㎡~13,700㎡（延床）

オープンイノベーション（交流）機能	
〔利用イメージ〕	〔整備内容〕
<ul style="list-style-type: none"> スタートアップ企業が新たなビジネスモデルの創出や成長を加速させる場 国内外の研究者が新たな事業創出や成長を加速させる場 サテライトオフィスとしての活用 	<ul style="list-style-type: none"> インキュベーションルーム 交流サロン・カフェ、ラウンジ コワーキングスペース オープンラボ・ファブ
	〔規模〕
	・1,280㎡~1,820㎡（延床）

情報発信・ゲートウェイ機能	
〔利用イメージ〕	〔整備内容〕
<ul style="list-style-type: none"> 国内外の企業が事業内容をPRする場 国内外の企業がリニア駅周辺及び近郊に進出していくためのゲートウェイ 	<ul style="list-style-type: none"> ショールーム 多目的ホール
	〔規模〕
	・250㎡~1,200㎡（延床）

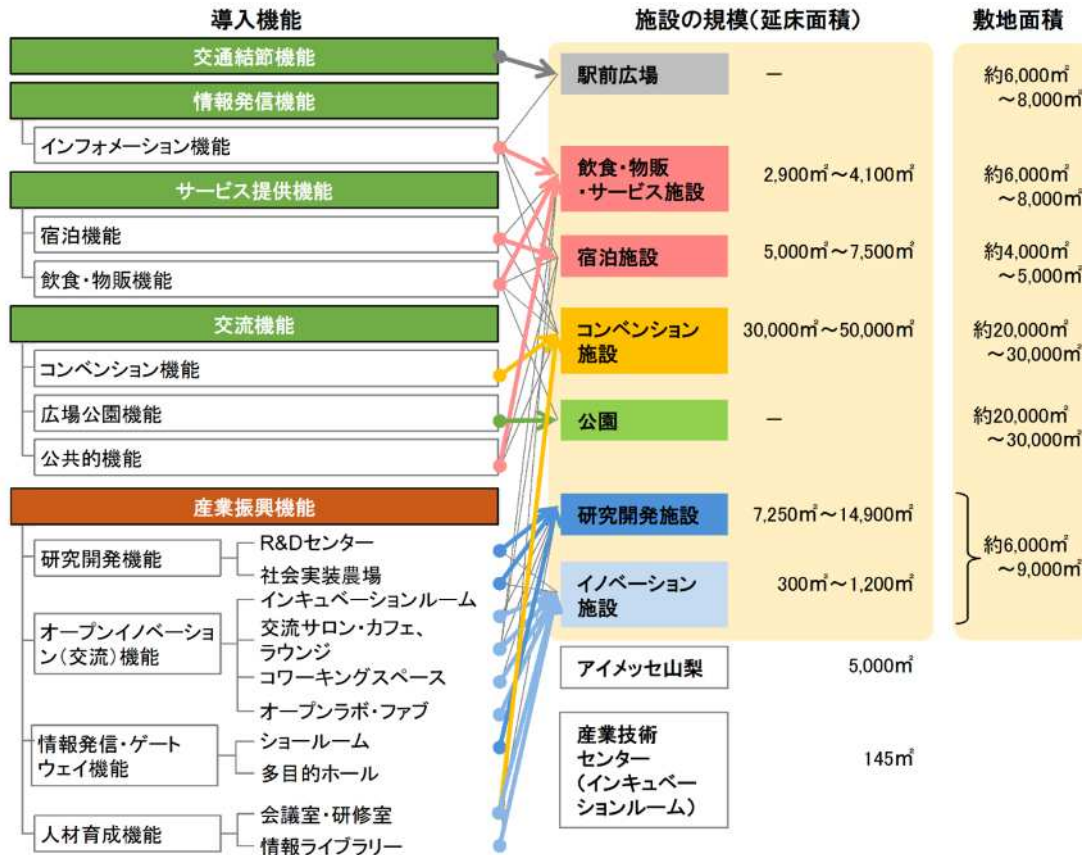
人材育成機能	
〔利用イメージ〕	〔整備内容〕
<ul style="list-style-type: none"> 国内外の企業が人材育成や研修を実施する場 企業関係者がセミナー等に参加するための場 企業の研究者等が最先端の動向を情報収集する場 	<ul style="list-style-type: none"> 会議室・研修室 情報ライブラリー
	〔規模〕
	・680㎡~970㎡（延床）

各機能の検討に当たっては、十分に防災対策を講じるとともに、クリーンエネルギーや自立・分散エネルギーシステムの導入、県産材の活用などの検討が必要

2. 導入機能・規模

(2) 導入機能の具体化

各導入機能は、他の機能と有機的に連携し、お互いが補完的な役割を担う中で、利用者の利便性や快適性の向上、ビジネスチャンスの創出、交流の促進につなげ、様々な利用効果を発現させます。



敷地面積には各施設用の駐車場を含む。

3. ゾーニング検討

(1) ゾーニングの基本方針

多様な交通手段の乗り換え利便性に優れた施設配置

リニアによる時間短縮効果を最大限に発揮するために、駅前広場をリニア駅出入口付近に配置し、わかりやすくかつ乗り換え利便性の高い交通施設を実現します。

公園を中心とした施設配置

自然豊かな山梨らしい景観に触れられる空間として、公園を中心に位置付け、交通結節機能や観光交流機能、産業振興機能が公園に面するような構成とし、各機能間の交流を誘発します。

周辺施設との連携を考慮した施設配置

産業振興機能は、既存施設である産業技術センターとの連携を考慮します。コンベンション機能は、隣接するアイメッセ山梨との連携を考慮します。

歩車分離を考慮した動線計画

駅周辺エリアの主要交通モードは自動車と歩行者であり、駅周辺エリアでは将来、自動車交通量が多くなることが想定されるため、適切な歩車分離を行う必要があります。駅南北を結ぶ南北自由通路や、駅と各導入施設を結ぶデッキ等を整備することで、適切な歩車分離を実現します。

景観資源の活用

駅周辺エリアからは南アルプスをはじめ甲府盆地を取り囲むいくつもの山々を望むことが出来ます。こうした山々への眺望は山梨県の誇る貴重な景観資源です。公園を取り囲む施設の高さを低く抑えることや配置等の工夫により、山々への眺望を確保し、甲府盆地の風土が感じられる魅力的な空間を形成します。

利便性に配慮した施設配置

施設を利用する利用者像とその行動を想定し、利用者にとって利便性の高い施設配置を行います。

3.ゾーニング検討

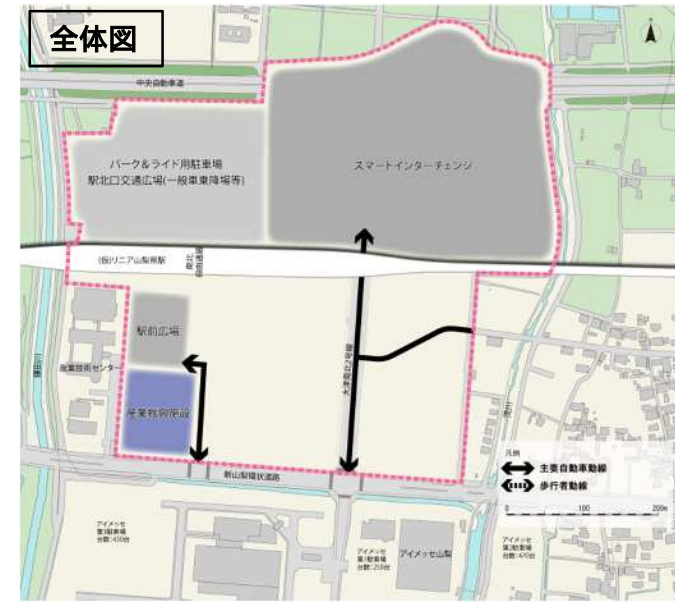
(2) 各施設配置に関する基本的な考え方

[配置が概ね固定される施設]

- ・パーク&ライド用駐車場及びスマートインターチェンジは、駅北側に配置
- ・駅前広場は、リニア駅南側出入口付近に配置
- ・産業振興施設は、産業技術センターに隣接する計画地西側に配置
- ・調整池は、大津南北2号線の南東側地下に配置

[配置が複数考えられる施設]

- ・コンベンション施設は、大津南北2号線の東側に配置する案と東西に分棟配置する案
- ・宿泊施設は、コンベンション施設と一体として整備(複合整備)する案と、飲食・物販施設と一体として整備(複合整備)する案



(3) ゾーニング案

	1案 コンベンション施設と宿泊施設を複合整備	2案 飲食・物販施設と宿泊施設を複合整備
A案 コンベンション施設を 大津南北2号線の東側に 配置	A-1案 	A-2案
B案 コンベンション施設を 大津南北2号線の東西 に分棟する配置	B-1案 	B-2案